

頑固な汚れをおとす 廃油石けん

■材 料

出来上り量18ℓ 缶分

カセイソーダ 1.75kg
水 3.3ℓ
食用廃油 11.6ℓ

廃油の少ない時

カセイソーダ 900g
水 1.7ℓ
食用廃油 6ℓ

使用用具

- 18ℓのブリキ缶（2缶）
- 軍手・マスク
- 1mくらいの木の棒
- 豆腐/パックまたは浅い発泡スチロール箱

食用廃油から手づくり石けん

あなたの家では、天ぷらやフライなど、揚げ物に使った油をどう処理していますか。

土の中に埋めたり、ぼろ布や紙に含ませて燃やしたりしていますか。

「流し」から流すと、排水管にまつたり、河川を汚すものになります。

食用廃油から、固形石けんが作れます。グループで廃油を持ちより、作ってみましょう。頑固なくつ下や運動靴の汚れがきれいになります。

■作り方



- ①18ℓ缶の中にカセイソーダを入れておき、水を静かに入れ、1mくらいの棒でかき混ぜる。熱くなるので注意する。
- ②カセイソーダがとけたら、直ちに廃油を静かに入れる。キヤラメル色でとろりとしてくる。
- ③約5分から30分くらいかき混ぜたら固まりかけてくるので、浅い発砲スチロールの箱へ流し込んでならす。
- ④固形化した石けんは、翌日には適当な大きさに切断できる。（カチカチにならないうちに切る）

- ★古い油は早く固まるが、固まらない時は4〜5日放置すれば固形化する。
- ★半月から1か月してから使用した方が、アルカリ度が低くなって使いやすい。

■作成時の注意点

- ①カセイソーダは素手で扱うと皮膚障害をおこし危険です。素肌を露出しない服装を心がけましょう。
- ②加熱しなくても化学反応で発熱するので、必ず軍手をしてください。
- ③かき混ぜる時に出るガスはなるべく吸い込まないように、マスクで口や鼻をおおってください。
- ④カセイソーダは薬局で購入できますが、印鑑が必要ですよ。
- ⑤新しい廃油は固まりにくいので、1か月ほど放置してから使いたしましょう。
- ⑥この石けんはアルカリ度が高いので、体を洗うのには不向きです。食器の油污れ、洗濯石けんとしてご使用ください。

6月1日は、人権擁護委員法が施行された日です。お互いに人権を守って明るい社会をつくりましょう。

6月3日は
町内一日清掃です
ご協力をお願いします

相談室 5月

相談名	相談日(場所)	時間
健康相談	8日(大輪会館) 22日(文化会館)	午後1時30分 ~午後3時
教育相談	毎週(月・水・金) 中央公民館	午前9時 ~午後4時
心配ごと相談 行政	1・8・15・22・29日 中央公民館	午後1時30分 ~午後4時
人権相談	1・8・15日 中央公民館	